



平成29年2月23日 東京都貨物輸送評価制度セミナー

東京都の取組

環境局環境改善部自動車環境課



概要

1. 東京都貨物輸送評価制度 概要
2. 国連エコドライブカンファレンス
3. 荷主団体訪問
4. 制度改正
5. 今後の展開





1 東京都貨物輸送評価制度 概要



「東京都貨物輸送評価制度」のねらい

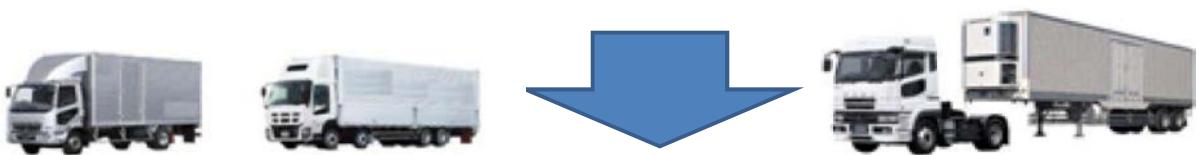
- ・運送事業者のエコドライブなどの日常的なCO₂削減の取組を評価し、**星の数で見える化**
- ・評価取得事業者が、受注機会拡大に向けて、**CO₂削減の努力と実績をアピール**
- ・運送サービスを利用する際に、**荷主企業から評価取得事業者が優先的に選択され、受注機会が拡大することで、運送事業全体のCO₂削減を図る**



評価を可能にした二つの世界ー



(一社) 東京都トラック協会で実施している「グリーン・エコプロジェクト」で蓄積した合計42万件のトラックの走行距離と給油量に関するデータを収集



合計52区分の
“ベンチマーク” (km / L) を設定



「東京都貨物輸送評価制度」の審査



- ①ドライバーへの教育訓練の実施
- ②適正な燃費管理
- ③データベースの構築



「東京都貨物輸送評価制度」の審査



①ドライバーへの教育訓練の実施



「東京都貨物輸送評価制度」の審査



②適正な燃費管理

本社営業所 2015年9月度					
走行管理表	走行距離	走行時間	燃費	運転者	走行日
● 練馬 あ 38	503,518	291	57 5.10		01/ 木
	503,931	413	89 6.97		02/ 金
	504,219	288	59 4.88		03/ 土
	504,507	288	55 5.03		04/ 日
	504,775	268	64 6.18		05/ 月
走行距離	505,100	325	69 6.71		06/ 火
走行距離	505,566	460	81 5.73		07/ 水
走行距離	505,709	183	43 0.35		08/ 木
走行距離	506,068	299	58 5.03		09/ 金
走行距離	506,351	303	60 5.05		10/ 土
走行距離	506,801	453	79 5.79		11/ 日
走行距離	507,218	410	79 5.24		12/ 月
走行距離	507,663	205	51 4.80		13/ 火
走行距離	507,795	272	49 5.55		14/ 水
走行距離	508,055	320	64 5.00		15/ 木
走行距離	508,387	332	64 5.18		16/ 金
走行距離	508,638	246	60 4.92		17/ 土
走行距離	508,966	339	64 5.20		18/ 日
走行距離	509,330	364	73 6.98		19/ 月
走行距離	509,573	243	55 4.41		20/ 火
走行距離	509,929	356	66 5.84		21/ 水
走行距離	510,161	232	66 5.00		22/ 木
走行距離	510,441	280	57 4.91		23/ 金
走行距離	510,810	369	80 6.61		24/ 土
走行距離	511,182	372	69 6.39		25/ 日
走行距離	511,473	391	65 6.01		26/ 月

■ ドライバーコメント
例：目標に対してどうだったか
次回は如何に気を付けるかなど
ゆっくり進
ゆっくり停止
エコ運転が
事故防止 !!

■ 管理者コメント
ありがとうございます
良い長い季節に
おつとめました。
車の窓を開けて
目も下を向けて
運転しましょう



「東京都貨物輸送評価制度」の審査



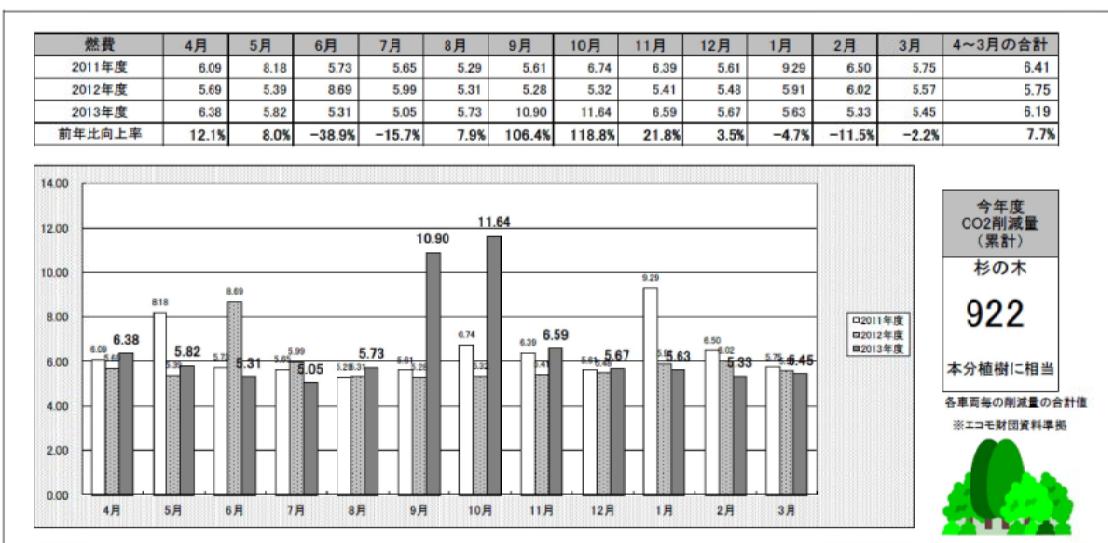
③データベースの構築

燃費結果表

■□運輸株式会社 ▲△本社営業所 全体

○●年○月度

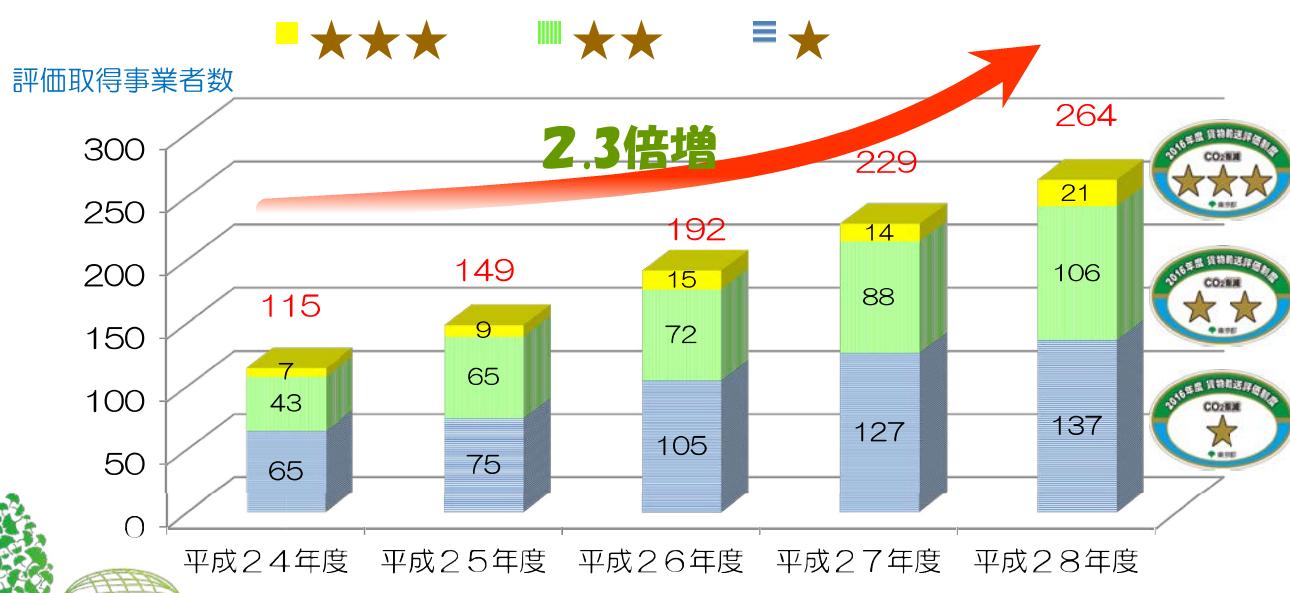
(一社)○○トラック協会



評価取得事業者数の推移



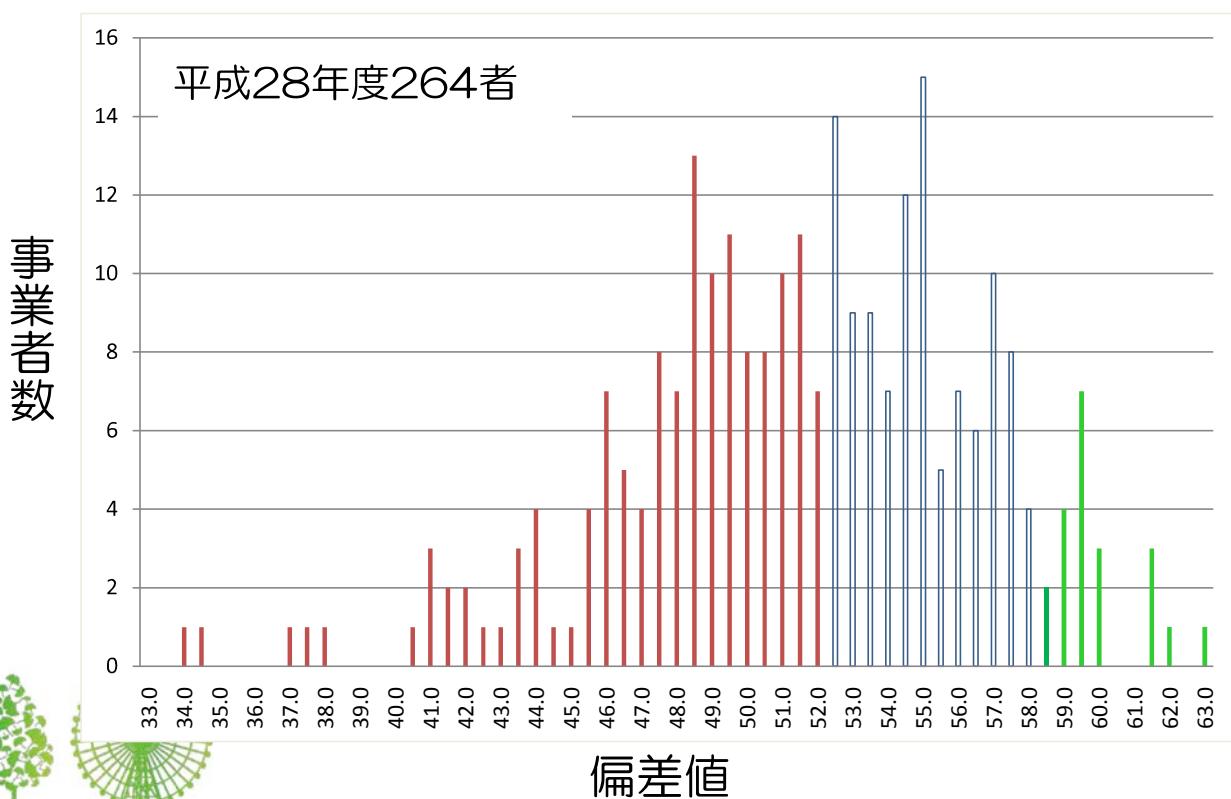
平成24年度の制度開始以来、評価取得事業者は着実に増加しています。



評価制度ステッカーの掲示



評価取得事業者の偏差値分布



評価対象車両の構成



平成28年度 評価対象車両数 10,099台

表 車両数上位5区分

区分	燃料種	車体形状	車両総重量	種別	台数
Nº3	軽油	バン、現金輸送車	3.5トン超7.5トン以下	普通	1,819
Nº4	軽油	バン、現金輸送車	7.5トン超8.0トン以下	普通	1,363
Nº8	軽油	キャブオーバ	3.5トン超7.5トン以下	小型	802
Nº39	軽油	トラクタ	-	-	638
Nº16	軽油	冷蔵冷凍車、保温車	7.5トン超8.0トン以下	-	594

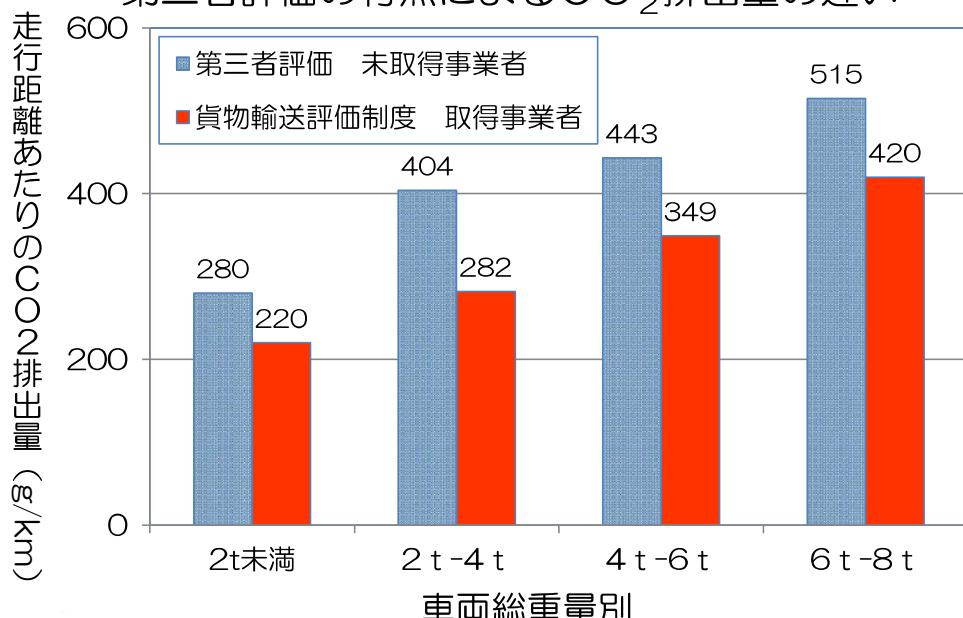


評価取得事業者の取組の成果



環境配慮に係る第三者評価を取得していない事業者と比較して、二酸化炭素排出量は2割程度削減

第三者評価の有無によるCO₂排出量の違い



エコドライブの効果



エコドライブは、CO₂の排出削減の他、次の効果ももたらします。

エコドライブによる燃料及び交通事故の削減効果
(「グリーン・エコプロジェクト」による10年間の実績)

①燃料消費量の削減

→燃料費の削減

②交通事故の削減

→積荷の安全配送



出典：グリーン・エコプロジェクト概要パンフレット（2016）
一般社団法人 東京都トラック協会

2 国連エコドライブカンファレンス



国連エコドライブカンファレンス



目的

国境、文化、経済環境の違いを乗り越えて取り組める「エコドライブ」について議論し、**世界にエコドライブを普及していく**



主催:国連WAFUNIF

開催場所:ニューヨーク国連本部

開催日:2016年11月29日

国連エコドライブカンファレンス



セッション2 (都市における環境対策)

東京都、ニューヨーク市、パリ市の3大都市によるプレゼンテーション

東京都は、貨物輸送評価制度を世界に発信



エコドライブの先進的な取組事例として注目を集める



3 荷主団体訪問



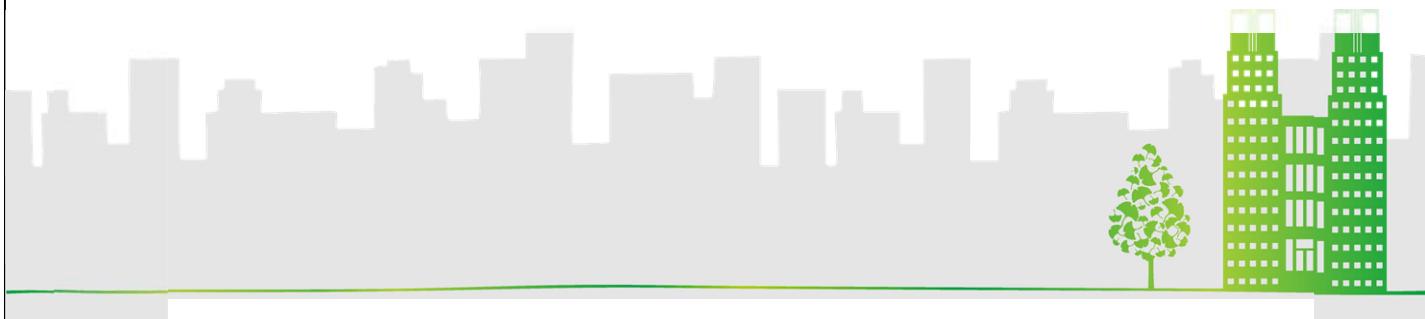
荷主団体訪問



評価取得事業者を優先的に利用してもらう

よう、荷主団体へ働きかけ

- ・本年度は、新聞輸送同盟会様、
東京都石油商業組合様を始め**30団体訪問**



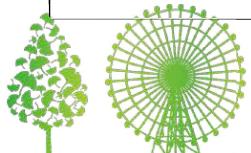
荷主団体訪問



- ・団体の理事会等に出席し、荷主企業へ直接説明
 - ・制度案内ちらしや評価事業者リスト配布
 - ・HPでのセミナー周知
 - ・会報やメールマガジンへの掲載
- 2,900社周知御協力

- ・これまでに**延べ90団体訪問**(H26~28)

傘下の企業・団体数 約85,000社以上





4 制度改正



(1) ベンチマークの更新・評価区分の追加



- 5年間に蓄積された約96万件の燃費データを基に、すべての**ベンチマークを更新**
- トラックの使用実態を踏まえた**評価区分を新たに設定**（現行区分52 ⇒ 新区分60）

	キャブオーバー	トラクタ
追加内容	クレーンの有無による区分け  写真提供 (株)タダノ	後輪軸数による区分け  写真提供 いすゞ自動車(株)

(2) 経過措置の実施



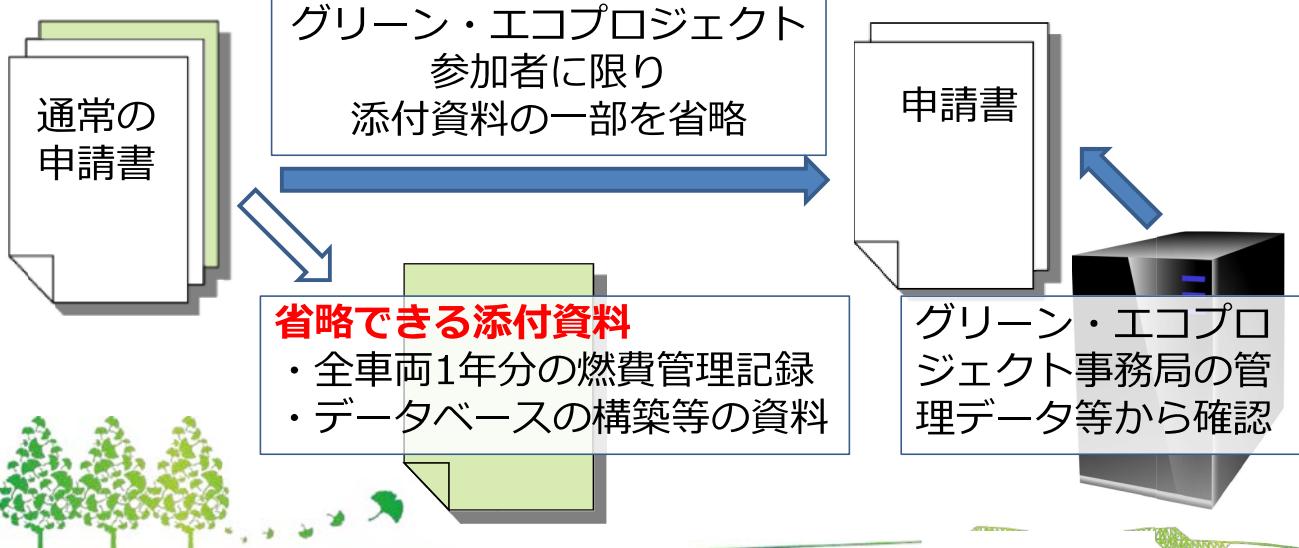
ベンチマーク更新及び評価区分の見直しに伴い、**経過措置**として、実燃費が前年度と比べ、悪化していない場合は、星の数を前年度と同じ評価とする。



(3) 申請手続きの簡素化



グリーン・エコプロジェクト（東京都トラック協会）参加者を対象に必要な添付資料を簡素化し**申請に関わる負担軽減**



(4) 評価取得事業者への情報公開の拡大

希望者に対し、偏差値及び全体の中の立ち位置を通知し、事業者様が**更なる上位成績の取得を目指すために活用いただく**

成績表
イメージ



(5) 永年表彰制度の創設



これまでの実績を評価する表彰制度を新たに創設し、**事業者様の継続的な取組を顕彰**

表彰
イメージ





5 今後の展開



今後の展開



- トラックによる
エコドライブ実車研修



- 5年間の評価制度の
取組成果とりまとめ

